

放送大学「生涯学習支援番組」（2025年度第2回制作）の  
制作に係る提案募集について

次のとおり提案を募集します。

2025年4月15日

分任契約担当者

放送大学学園 財務部長 北原 文幸

記

1 提案を募集する事項

- (1) 件名 放送大学「生涯学習支援番組」（2025年度第2回制作）の制作業務
- (2) 仕様等 放送大学「生涯学習支援番組」（2025年度第2回制作）の制作業務仕様書（以下「仕様書」という。）のとおりに。

契約の案件の説明については、仕様説明書を送付する方法により行いません。

つきましては、仕様説明書の送付を希望される場合、下記の連絡先にご連絡をお願いいたします。

放送大学学園放送部放送管理課業務係 mail:gyoumu-k@ouj.ac.jp

※在宅勤務等で担当者が不在の場合がございますので、恐れ入りますがご連絡は必ずメールにてお願いいたします。

2 概算所要経費

仕様書のとおりに

3 応募者に必要な資格に関する事項

- (1) 「放送大学学園契約事務取扱規程」第4条及び第5条の規定に該当しないものであること。
- (2) 国や地方公共団体の機関において、取引停止又は指名停止の処分を受けているものでないこと。
- (3) 有効年度が令和7年度の「全省庁統一資格」において、関東・甲信越地域の「役務の提供等」のA、B、CまたはDの等級に格付けされている者であること。

#### 4 提出書類等

『放送大学「生涯学習支援番組」(2025年度第2回制作)の制作に係る業者選定実施要領(以下「実施要領」という。)]による。

#### 5 選定方法等

概算所要経費の範囲内において、有効な見積金額を提出した者の中から、放送大学「生涯学習支援番組」(2025年度第2回制作)に係る制作業者審査基準等に基づき、学園の評価担当者による提出書類等の審査を行う。

審査の結果、番組毎に、最も優秀と認められた業者を一者選定する。

なお、審査内容や経過に関する問い合わせには応じない。

#### 6 契約について

契約書の作成を要する。

#### 7 本件に関する問い合わせ先

〒261-8586

千葉市美浜区若葉 2-11

放送大学学園 放送部放送管理課業務係

MAIL [gyoumu-k@ouj.ac.jp](mailto:gyoumu-k@ouj.ac.jp)

#### 8 提出書類等の提出先、提出方法及び提出期限

(1) 提出先 上記7と同じ

(2) 提出方法 郵送※による

(3) 提出期限 郵送：2025年5月14日(水)17時必着

※配送確認のとれる方法(例：書留等)で提出すること。

#### 9 その他

(1) 提案に要する経費は、全て提案者負担とする。

(2) 提出された書類等は、返却しないものとする。

(3) 「3 応募者に必要な資格に関する事項」に定める資格を有しない者、提出書類に虚偽の記載をした者の企画提案は無効とする。

(4) 企画競争の結果については、各提案者に通知する。

## 放送大学「生涯学習支援番組」(2025年度第2回制作)の制作業務仕様書

### 1. 業務概要

放送大学学園(以下「学園」という。)のテレビ番組(以下「番組」という。)の構成・演出・収録・編集等の制作業務を行う。

本番組は、2025年度以降に放送予定のテレビ生涯学習支援番組である。

請負事業者は、学園が示す企画方針および計画に基づき、学園プロデューサー等と連絡・協議を行いつつ連携をとり、番組制作業務を遂行する。

### 2. 請負期間

仕様書別紙1のとおり

### 3. 制作する番組・本数・概算所要経費

仕様書別紙1~3のとおり

### 4. 番組制作業務の具体的内容、手順

#### 1) 放送番組の演出

- ・出演講師、学園プロデューサー等と打合せによる内容原案を元に、演出方法及び内容を策定、実施

#### 2) 内容検討・番組進行表の作成

- ・番組全体の構成案(項目、配列、時間、配分)策定
- ・映像・音声素材等の選定(ビデオ・写真・コメント等)
- ・出演者との内容・スケジュールの交渉(講師・ゲスト等)
- ・ロケーション先の選定、必要に応じた下見

#### 3) ロケーション(国内)の実施と編集

- ・ロケーション(国内)に必要な要員の手配、機材の準備及びロケーションの実施
- ・出演者のヘアメイク及び衣装の手配
- ・ロケーション実施後の映像・音声の編集等、ポストプロ業務

#### 4) 番組の素材資料の収集と作成

- ・動画・静止画・図版等の収集および作成。資料の収集にあたっては学園が推奨する素材(AFP)を優先的に選択する。なお、日本経済新聞社の著作物については使用を控えること(許諾条件の履行が困難であるため)。

#### 5) 請負事業者による「放送大学学園著作物利用規程」に基づく権利処理(音楽等一部を除く)処理にあたっては、以下の点に留意のこと。

- ・学園が定める承諾書を出演者から受領すること。また、受領した承諾書はコピーを保管の上、原本は放送部放送管理課へ提出すること。
- ・番組出演者(学園の教員を除く)にかかる出演料、交通費等は、請負事業者が負担すること。
- ・上記4)の素材資料の放送(マルチ編成含む)等利用に関わる著作権等の調査、確認及び権利処理を行い、それに伴う費用は請負事業者が負担すること。
- ・放送(衛星、CATV等による同時放送を含む)・インターネット配信(学園のウェブサイト上での一般向け公開。告知用動画においては、YouTube等外部ウェブサイト上での一般向け公開にも対応のこと。ストーリーミング方式であって、在外学生向けを含む。)の利用許諾を得る

こと。

- ・学習センター等へのDVD配架等の番組の二次利用に関わる著作権等の調査、確認及び権利処理を行うこと。
- ・権利処理及び利用した素材（音楽及び上記3）等に伴う出演者並びに上記4）含む）等の記録報告を学園所定の書式（「著作権処理業務完了報告書」及び「楽曲使用報告書」）にて紙及び電子媒体で行うこと。

6) 美術セットの調達と操作

- ・大道具・小道具、生花木の調達及び操作

7) タイトル、テロップ・パターンの制作等

- ・タイトル、テロップ・パターンのデザイン及び制作
- ・CG・アニメーションの作成及び操作

番組の告知用動画の開始タイトル及び終了タイトルの表示方法は、別途学園プロデューサー等の指示に従うものとする。

8) 番組の試写

- ・学園プロデューサーによる完成前試写及び指示に応じた修正作業

9) 放送用台本の作成、印刷

- ・放送用台本の作成及び印刷

10) 音響効果

- ・番組に関わる選曲および効果音制作等

11) スタジオ収録及び収録時の副調整室及びフロアでの指揮

- ・スタジオ収録に関わる各種伝票処理
- ・出演者・技術スタッフとの収録打合せ
- ・ドライ、カメラリハーサル
- ・学園プロデューサー等の検査後、ディスク等引渡し

12) 広報用写真の作成

- ・画像例
  - ・番組タイトル画像
  - ・各出演者のバストショット画像
  - ・出演者全員が映っている画像
  - ・番組イメージの分かるグラフィック画像等
- ・画像サイズ1920×1080、画像形式は学園プロデューサーの指示に従う
- ・学園ウェブサイトでの掲載・ニュースリリース配信等のネット利用のための著作権処理を行っているもの

13) 後処理、手直し等

- ・資料の整理
- ・伝票の整理
- ・番組制作に使用した素材テープ等の入庫整理
- ・納品後、番組の手直しについて、請負事業者の責めに帰すべき理由によるものは、請負代金に含むものとする。

14) 上記各項目の業務遂行のために必要な打合せ参加

5. 番組制作業務に必要と想定される職種及び人数

請負事業者は、学園プロデューサーと協議のうえ、当該業務を適切に遂行できるよう各業務内容に応じ必要な専門知識を有する者を手配するものとする。

## 6. 学園施設・機器等

- 1) 収録は学園のテレビスタジオを使用することができる。その場合、収録に係わる業務に必要な技術要員は、学園で措置する。
- 2) 完成素材収録用 XDCAM メディア、スタジオ収録用 XDCAM メディア、番組考査試写用 DVD-R、番組編成業務用 DVD-R は必要な数を貸与する。なお、DVD-R の貸与については、学園が別に指定するクラウドサービスの利用に代える場合がある。
- 3) 請負事業者が手配・調達するものは以下の通り。
  - 学園スタジオでの収録時に必要な要員（技術要員を除く）○ロケ（要員および機材）
  - オフライン編集（要員および機材）○音響効果（要員および機材）○スタジオ大道具・小道具、道具操作
  - メイク ○衣装(スタイリスト)
- 4) 上記に含まれないものについては学園と請負事業者が協議の上で決定する。

## 7. 記録媒体等

学園が使用する記録媒体は XDCAM メディアであり、記録媒体の学園外への持ち出し及び学園への持ち込みについては、全て XDCAM メディアで対応すること。

## 8. 学園への納入物品の取扱い

次の完成物を番組の種別ごとに記載された数量を履行期限までに①～④を制作部へ、⑤～⑨を放送部放送管理課へ納入し、学園職員による検査を受ける。なお、③及び④については、学園が別に指定するクラウドサービスの利用に代える場合がある。また、納入物品は**学園技術フォーマット（別添の「テレビ制作技術基準」を参照）に準拠**すること。

	生涯学習支援番組 (1 番組あたり)	告知用動画 (1 番組あたり)
① 放送用本番素材記録XDCAMメディア	1 本	1 本
② クリーンピクチャー収録XDCAMメディア	1 本	1 本
③ 番組考査試写用DVD-R	1 本	1 本
④ 番組内容確認用DVD-R	1 本	—
⑤ 放送用台本電子媒体	1 式	—
⑥ 広報用写真電子媒体	1 式	1 式
⑦ 著作権処理業務完了報告書※ (紙及び電子媒体)	1 式	1 式
⑧ 楽曲使用報告書(紙及び電子媒体)※	1 式	1 式
⑨ 出演者から受領した承諾書の <b>原本</b> ※ (「4. 番組制作業務の具体的内容、手順」の 5) を参照のこと)。	1 式	

※学園所定の書式で提出すること。

## 9. 番組制作業務完了の報告

請負事業者は、業務完了後「番組制作業務完了報告書」を放送部放送管理課に提出すること。

#### 10. 請負代金の請求・支払

請負事業者は、8及び9の検査に合格したときは、請負代金を学園に請求する。  
学園は、適法な請求書受理後、40日以内に財務部経理課から支払うものとする。

#### 11. 著作権の帰属等

- 1) 制作した番組（放送用利用分以外の番組収録素材を含む）に関する著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は学園に帰属する。
- 2) 番組は、学園の著作名義で公表する。  
なお、制作協力等の表示は、学園の基準によるものとする。
- 3) 学園は、番組等及び関連素材を必要により改変して使用することができる。
- 4) 上記各項目は、許諾を得た第三者の権利の帰属に影響を及ぼさない。

#### 12. 業務内容の変更等

- 1) 本仕様書に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、請負事業者の責任において履行するものとする。
- 2) 予期することができない状態の発生など、業務内容を変更せざるを得ない場合には、学園と請負事業者が協議の上で、業務内容を変更することができる。
- 3) 業務内容が変更された場合には、請負代金についても協議の上、変更することができる。

#### 13. 安全の確保

- 1) 請負事業者は、業務の実施にあたり、請負事業者の従業員を直接指揮命令する者（以下、「現場責任者」という。）を必要に応じて1名以上選任し、任務に当たらせるものとする。
- 2) 現場責任者は、業務の実施の過程における安全対策について、請負事業者の従業員およびその指揮下にある全てのスタッフの安全確保に十分取り組むとともに、徹底を図る。

#### 14. 業務の再委託等

- 1) 請負事業者は、業務の実施にあたり、業務の全部について、一括して第三者に請負わせたり、一括して第三者に再委託してはならない。
- 2) 業務の一部を第三者に対して、請負わせたり、再委託する場合、請負事業者は、あらかじめ、所定の事項について、学園に申請した上で、承認を得なければならない。

## 制作する番組・本数・概算所要経費・請負期間

## 1. 生涯学習支援番組 2番組

No.	分類	題目名	放送（ネット配信含む）期間	概算所要経費（税込）	請負期間
1	BS キャンパス ex 特集	古文書を訪ねる旅～山口県立文書館所蔵「熊谷家文書」～ (45分×2本)	4年 40回	3,340.7 千円	契約締結日～ 令和8年2月27日
2	BS キャンパス ex 特集	芭蕉晩年の深まりと門人たちのその後－俳諧の文学的確立を目指して－ (45分×1本)	4年 40回	1,919.5 千円	契約締結日～ 令和8年2月27日

## 2. 告知用動画（放送やネット配信等で利用する1分間の告知用動画） 2番組

No.	題目名	本数	概算所要経費（税込）
1	古文書を訪ねる旅～山口県立文書館所蔵「熊谷家文書」～	1本	上記1 No. 1に含む
2	芭蕉晩年の深まりと門人たちのその後－俳諧の文学的確立を目指して－	1本	上記1 No. 2に含む

※出演者は現時点の予定であり、変更の可能性がある。  
出演予定者に内容等問い合わせを行うことは厳禁とする。

仕様書別紙 2

制作する番組・本数・概算所要経費

担当プロデューサー、ディレクター  
制作部 足立圭介

1) 番組名(グループ名)  BSキャンパスex特集	2) 個別番組タイトル  古文書を訪ねる旅～山口県文書館所蔵 「熊谷家文書」～
3) 放送回数、期間、マルチ展開など ・放送 4年40回 ・インターネット配信公開講座(AOBA)へのマルチ展開を希望	4) 番組尺、本数 45分 × 2本
5) 内容等 a. 目的・ねらい 古文書の原本を訪ね、古文書を読む楽しみ、見る楽しみを伝える。さらに古文書の語る歴史の現地を訪ね、歴史の舞台の具体的なイメージを再現することを試みる。一般の歴史娯楽番組より一步踏み込んで、古文書学の「さわり」を伝える。古文書は読む以前に見ることによって知ることのできる情報を豊富に有する。古文書を史料としてフル活用するためにはもちろん修練を必要とするし、その修練はどこまでやっても終わることのないものではあるのだけれども、それをやってみればこんなに楽しいことがあるということを伝えるのには、まったく予備知識を必要としない。そんな楽しみを伝え、本格的な学びへのいざないとするのが、本番組の目的・ねらいである。	
b. 内容・構成 山口県文書館所蔵『熊谷家文書』を取り上げる。『熊谷家文書』は『平家物語』で有名な熊谷直実の子孫に伝来した文書。直実の孫直国が承久の乱で討死した恩賞として安芸国三入庄地頭職が与えられた。直国の遺産相続をめぐるその子直時と祐直との間で裁判になり、文暦2年(1235)に判決が下った。判決は三入庄については3分の2を直時に、3分の1を祐直に知行させるというもので、安芸守護藤原親実が三入庄を2対1に分割する帳簿を作成して幕府に報告し、幕府では執権泰時と連署時房が帳簿に署名して当事者である直時・祐直に交付した。しかし祐直が守護による分割案に不満を持ち、直時が3分割して祐直が1分を選ぶか、祐直が3分割して直時が2分を選ぶかのどちらかを求めたので、文永元年(1264)にやり直しの判決が下り、直時が3分割して祐直が1分を選ぶことになった。 この間の判決書(裁許状)や安芸守護が三入庄を2対1に分割した帳簿の現物を観察し、古文書を「見る」ことで得られる情報や古文書を「読む」ことのポイントを解説することで前編を構成する。 後編では、安芸守護が三入庄を分割した帳簿などを手がかりに、三入庄が所在した現地広島市安佐北区可部町を訪ね、熊谷氏の拠点となった三入庄がどのような場所で、ここを舞台として熊谷氏がどのような歩みをたどったかを考える。	
c. 取材対象      ロケ取材    :    有 山口県文書館(山口県山口市) 広島市安佐北区可部町 ※ロケは2回に分けて行う。前編の山口県文書館のロケにあわせ、後編のロケハンを行う。	



d. 出演者など（※キャリアアップ支援認証制度を希望する場合は、担当講師及び客員教員発令の有無も記載）

近藤成一 服部英雄九州大学名誉教授（三入庄比定地の案内）

6) 主体性の確保

基本的に放送大学教員が解説を行うとともに、全体の構成台本を（インタビュー内容を除く）作成することによって、放送大学の主体性を担保する。

7) 制作予定期間

契約締結日～令和8年2月27日

8) 演出上の特記事項

9) 字幕制作希望

有

※出演者は現時点の予定であり、変更の可能性がある。  
出演予定者に内容等問い合わせを行うことは厳禁とする。

仕様書別紙 3

制作する番組・本数・概算所要経費

担当プロデューサー、ディレクター  
石橋 文 プロデューサー

1) 番組名(グループ名)  BSキャンパスex特集	2) 個別番組タイトル  芭蕉晩年の深まりと門人たちのその後 —俳諧の文学的確立を目指して—
3) 放送回数、期間、マルチ展開など 4年間 40回 マルチ展開 インターネット配信を希望する	4) 番組尺、本数 45分 × 1本
5) 内容等 a. 目的・ねらい 松尾芭蕉は言い捨ての言葉遊びだった俳諧を、人生を詠む不易に残る文藝へと高めた。晩年は、古典を踏まえた『おくのほそ道』を書くと共に、日常生活のあはれを普段の言葉で詠む「軽み」を強調、門人と連句で多様に展開し、最後は人生観も表現する句へと深めた。臨終に集まった門人達は、最期まで俳諧を真の文藝へ高める姿に打たれ、没後8年に出版された『おくのほそ道』を読んで改めて俳諧の深さを知り、各自が受け継いで様々な活動をした。それらが今日の俳句隆盛の基盤となっている。 b. 内容・構成 芭蕉は、亡くなる1年前に『おくのほそ道』を執筆後、古典への憧れから日常生活の中にあはれを求めるように深めて「軽み」を説き、商家の手代達と古典を離れて日常を詠む『炭俵』を半年後作った。同時期に能楽師達とは古典を踏まえた「軽み」を試み、翌年5月の帰郷後、彼らの連句を大幅に手直しし、上方の門人達との連句と発句を合わせ『続猿蓑』の編集を9月初めに完了。その後の旅で人生を詠む句を展開する。10月に死ぬが、最後の句は「旅に病んで夢は枯野をかけ廻る」ではなく、夏の句の直しと翌朝語った「清滝や波に散り込む青松葉」で、西行の歌を踏まえて自分の死後も俳諧が文藝として展開する願いを込めていた。芭蕉の教えを後世に伝えんとする門人各自の活動が俳諧を文学へと高め確立させた。企画提案者である魚住が芭蕉ゆかりの場所をめぐるロケ映像を中心として、『おくのほそ道』を論じた昨年度の番組と合わせて、芭蕉の文学的価値と今日的意味を考える。 c. 取材対象 ロケ取材 : 有 落柿舎(京都府嵯峨野)と清滝、柿衛文庫(兵庫県伊丹市・書画)、義仲寺(滋賀県大津市・墓)	
d. 出演者など(※キャリアアップ支援認証制度を希望する場合は、担当講師及び客員教員発令の有無も記載) 魚住孝至(放送大学特任教授)、柿衛文庫館長、義仲寺執事へのインタビュー、ナレーター(作品朗読)	
6) 主体性の確保 放送大学教員がシナリオ作成し、プロデューサー、ディレクターと相談して演出を工夫する。	
7) 制作予定期間 契約締結日～令和8年2月27日	
8) 演出上の特記事項 芭蕉晩年の書画と遺書、最後の句に詠まれた地と芭蕉の墓の映像	
9) 字幕制作希望 有	

# テレビ制作技術基準

別添

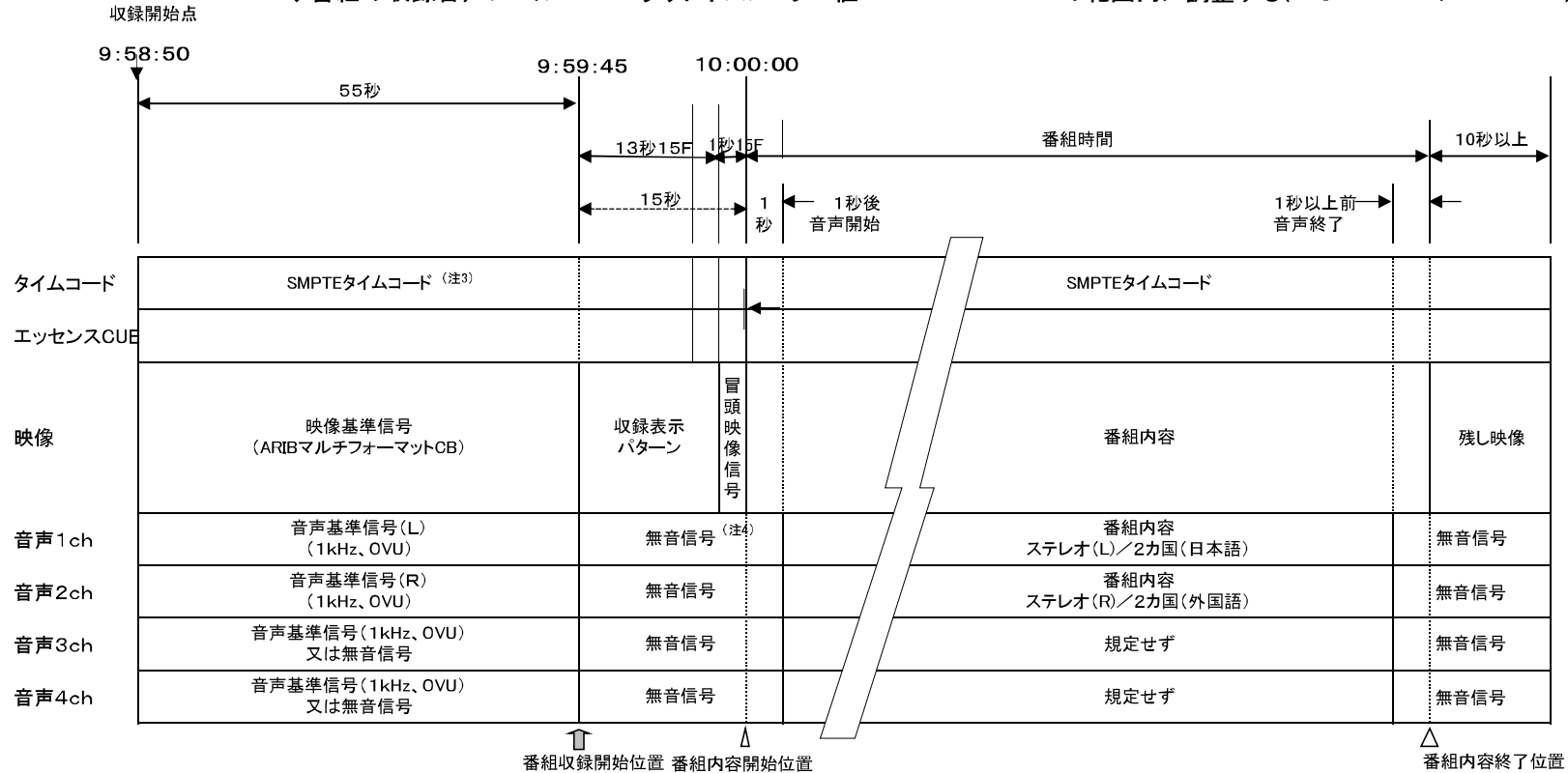
## XDCAM-HDディスク放送用収録フォーマット

令和6年4月1日

◇映像:MPEG2 422P@50Mbps      ◇音声:LPCM 48kHz 24bit 8ch ステレオ

◇MXFオペレーションパターン OP1a

◇番組の収録音声レベル      ・ラウドネスメーター値 -24LKFS±1dB の範囲内に調整する(ARIB TR-B32/NAB T032)



\* 予備SB(ステーションブレイク)は、1枚のディスクに複数本収録するが、それぞれが独立したファイルに1クリップで基準フォーマット収録する。

\* 送出サーバー登録時、09:59:58:00からファイリングするため表示パターンを09:59:58:15まで記録する。

- 注1: ARIBマルチフォーマットカラーバーは「ARIB STD-B28」に準拠すること。
- 2: 音声基準信号は、OVU=基準量子化値(フルビットから20dB下がった値 -20dBFS)とする。
- 3: タイムコードトラックには、収録開始位置から連続したSMPTEタイムコードを記録すること。(ドロップフレーム)
- 4: 無音信号とは入力信号を絞りきった(無音の)音声信号が記録された状態をいう。
- 5: 番組試写終了後、TDまたは担当者がラウドネスメーター値を番組収録連絡票に記入すること。
- 6: デジタル音声のプリエンファシスは使用しないこと。
- 7: ディスクごとに「ワンクリップ」収録とすること。
- 8: 末尾のフィラー音楽開始については、1秒以上音声の空白を挿入すること。

別添

外部制作での完プロ制作における編集ソフトの考慮すべき項目

制作番組の完成品（完プロ番組）を放送大学学園に納入の際は、サーバ登録、送付、制作の観点から、下記の編集ソフトウェアを使用すること。

1. エディウス（GrassValley EDIUS）
2. プラナス（PRUNUS）
3. アビッドメディアコンポージャー(Avid Media Composer)

※書き出し時のエンコーダは「Avid Medi 4.4.」を使用すること

4. ブラックマジックデザイン(Davinci Resolve+Main Concept)

なお、上記以外の編集ソフトウェアを使用する場合は、必ず、XDCAM ディスクにベースバンド収録して完成品とすること。

以上によらない場合は、あらかじめ学園の承諾を得ること。